

当所のコンパクト・アトムカウンターは 既設のジャコー 3.4m エバート型分光分析装置とL字型に組み合わせられて設置され 発光装置は エバート側にある 直流アーク 高圧交流アーク ユニ・アーク イグナイト交流アーク 高圧スパークに さらに コンパクト・アトムカウンター側に マルチソース (中野電子) をそなえ 全部で6種類の発光方法が使用できる。

測定結果は数値放電管によるデジタル表示と同時に5桁の数字で印字記録され 記録計による光電流の時間の変化も測定できる。

筆者らは ここ一年間で装置の組み立て調整を終え 4.の項で述べたごとく ペレット法による主成分分析の検討をほぼ完了した。分析プログラム表にある微量成分の定量範囲は 筆者らの装置による実測値である。

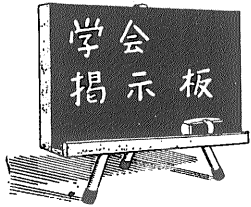
について その概要を紹介した。ペレット法のごとく部分的には やや詳しく紹介したものもある。このような機器分析の分野は今後もますます発展することは疑いない。各装置の発展改良も必要であるが 同時に分析試料の粉碎 熔融などの前処理を効果的に行なうシステムの確立は重要である。Govindaraju のいうごとく 将来 機器分析の分析能率は 分析試料の調製スピードに規制される ということは明白な事実であるからである。また 大型装置から生産される膨大なデータを統計的に処理するシステムを確立しなければ 装置の性能を最大限に利用できないであろう。

直読式分光分析装置を設置する場合 できればX線蛍光分析装置を併置するとよい。分析元素や その含量によって いずれかの装置が すぐれた特長をもつためである。

(筆者は 技術部地球化学課および化学課)

8. おわりに

岩石・鉱物分析用の直読式分光分析装置とその適用例



- ・日本地学教育学会
- 1. 昭和42年11月26日～27日
- 2. 第20回 全国大会 (大会委員長 米山芳成)
- 3. 東京都立教育研究所 (予定)
- 4. 日本地学教育学会
- 5. 東京都立 立川高等学校 高田 七五三雄 (Tel 04252-8195)

日本化学会九州大会係 中森 一誠
Tel (092) 64-1101 内線 3207

- ・日本地球化学会
- 1. 昭和41年10月13日(木)～16日(日)
- 2. 地球化学討論会 (1966年度)
- 3. 金沢市丸ノ内 金沢大学城内キャンパス
- 4. 日本化学会 日本地球化学会共催
- 5. 金沢市丸ノ内1の1 金沢大学理学部 放射化学研究室 討論会 準備委員会 Tel (0762 62-4281 内線199)

- ・日本分光学会
- 1. 昭和41年11月7日(月)～9日(水)
- 2. 第2回応用スペクトロメトリー東京討論会
- 3. 東京都立 産業会館
- 4. 応用物理 質量分析 日本化学 日本分光 日本分析化学会共催
- 5. 東京都渋谷区本町 1-1 東京工業試験所内 日本分析化学会 東京討論係

- ・日本地質学会
- 1. 昭和41年10月7日(金)～10月9日(日)
- 2. 日本地質学会第73年総会ならびに 日本地質学会 日本岩石鉱物鉱床学会 } 連合学術大会 日本鉱山地質学会 日本鉱物学会
- 3. 金沢大学学生会館・同教養学部
- 4. 日本地質学会 日本岩石鉱物鉱床学会 日本鉱山地質学会 日本鉱物学会 共催
- 5. 東京都文京区本富士町 東京大学理学部地質学教室内 日本地質学会 Tel (03-814-0549)

- ・日本結晶学会
- 1. 昭和41年10月18日(火) 9.30～19.30
- 2. シンポジウム「特殊条件下の構造研究」 国際結晶学会モスクワ会議報告座談会
- 3. 名古屋大学工学部
- 4. 日本結晶学会
- 5. 東京都文京区本富士町1 東京大学理学部鉱物学教室内 日本結晶学会 Tel (03-812-2111 内線2418)

- ・日本鉱業会・日本鉱山地質学会
- 1. 昭和41年10月15日(土)～18日(火)
- 2. 秋季大会
- 3. 岩手大学
- 4. 5. 東京都中央区銀座西 8-7 社団法人日本鉱業会 Tel (03-572-5091)

- ・日本化学会
- 1. 昭和41年10月17日(月)～20日(木)
- 2. 日本化学会九州大会
- 3. 福岡市箱崎 九州大学
- 4. 5. 福岡市箱崎九州大学工学部応用化学教室 日本化学会九州支部事務局

[注]

- 1・開催年月日 2・会合名 3・会場
- 4・主催者 5・連絡先
- なお掲載順位は 原稿到着順